

1. 各種計画

①第2期千葉市国民健康保険データヘルス計画
(第3期特定健康診査等実施計画)

位置づけ: 保険者である千葉市が、健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業を図るための保健事業実施計画

計画期間: 平成30年度～令和5年度

目的: 被保険者が、高血圧症、糖尿病、脂質異常症の発症・重症化を予防することができる

- 目標:**
- ① 特定健康診査の受診率の向上
 - ② 特定保健指導の実施率の向上
 - ③ 新規人工透析患者数の減少
 - ④ 高血圧値の改善
 - ⑤ 血糖コントロール不良者の割合の減少
 - ⑥ 脂質異常症の減少

重点的に介入すべき課題疾患:

生活習慣基礎疾患高血圧症、糖尿病、脂質異常症

重症化疾患として慢性腎不全、虚血性心疾患、脳血管疾患

④第2期千葉県保健事業実施計画
(後期高齢者データヘルス計画)

位置づけ: 「健康日本21」(第二次)に示された基本的な方針を踏まえ、千葉県の健康増進計画「健康ちば21(第2次)との整合性を図るとともに、関係市町村の健康増進計画とも連携を図っている。

計画期間: 平成30年度～令和5年度

目的: 健康課題を明確にし、関係市町村と協力して後期高齢者の心身の特性に応じ、疾病の予防や健康保持増進への積極的な取組、医療費の適正化等

主たる目標項目:

- ① 健康診査の受診率の向上
- ② 歯科健康診査の受診率の向上
- ③ 高齢者の心身機能の低下予防並びに疾病の重症化予防の実施

②健やか未来都市ちばプラン

位置づけ: 市町村健康増進計画

計画期間: 平成25年度～令和5年度

- 健康目標:**
- 1 健康寿命の延伸と健康格差の縮小
 - 2 生活習慣病の発症・重症化予防の徹底
 - 3 社会生活に必要な機能の維持・向上
 - (1) こころの健康
 - (2) 市世代の健康
 - (3) 高齢者の健康
 - 4 健康を支え、守るための社会環境の整備
 - 5 生活習慣及び社会環境の改善

重点項目: ○働き盛りの糖尿病予防

○高齢者の健康づくり

○食塩摂取量の減少

○たばこによる健康影響の低減

○育児不安の軽減

目標

	中間値	目標
介護・支援を必要としない高齢者の割合の増加	85.1% (H26年度)	88.0% (R3年度)
ロコモティブシンドロームを認知している人の割合の増加	44.2% (H28年度)	80.0% (R4年度)
低栄養傾向(BMI2.0以下)の高齢者の割合の増加の抑制	19.1% (H27年度)	22% (R4年度)
足腰に痛みのある高齢者の減少(人口対)		男性200(R4年) 女性260(R4年)
この1年間に地域活動やボランティア活動に参加したことがある高齢者の割合	27.7% (H26年度)	40.0% (R3年度)

③高齢者保健福祉推進計画(第8期介護保険事業計画)

位置づけ: 老人福祉計画と介護保険事業計画

計画期間: 令和3年度～令和5年度

基本理念: 支え合いが安らぎを生む、あたたかなまちへ

基本目標: 高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会を創る
～地域共生社会の実現を念頭に、2025年・2040年を見据えた地域包括ケアシステムの構築・強化を目指す～

基本方針: 1 高齢者が生きがいをもって元気であるための地域づくりを目指して～健康寿命～

- (1) 高齢者の社会参加の促進
- (2) 健康づくり
- (3) 自立支援と重度化防止

自立支援・重度化防止の取組目標

- 目標1** 介護・支援を要しない高齢者の増加(対象:75歳以上85歳未満)
令和2(2020)年度 81.7% → 令和5(2023)年度 82.5%
【出典及び検証方法】認定状況による
- 目標2** 低栄養傾向(BMI2.0以下)の高齢者の割合の増加の抑制(対象:65歳以上)
令和元(2019)年度 18.9% → 令和5(2023)年度 22%
【出典】令和元年度:千葉市国民健康保険特定健康診査・後期高齢者健康診査結果
令和5年度:「健やか未来都市ちばプラン」中間評価・見直し報告書
【検証方法】千葉市国民健康保険特定健康診査・後期高齢者健康診査結果による
- 目標3** 介護予防に資する住民主体の通いの場への高齢者の参加人数の増加(対象:65歳以上)
令和元(2019)年度末 20,999人 → 令和5(2023)年度末 21,600人
【出典】令和元年度:千葉県及び国への報告数(保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金に関する評価指標の該当状況調査)
令和5年度:国の基本指針(総合事業の量の見込み:高齢者人口の8%)
【検証方法】千葉県及び国への報告数による